

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振（きょうしん）！」通信

※このメールは、教育振興運動推進の一環として、岩手県内の社会教育・学校関係者等あてに送付しています。

【中部教育事務所・教育振興運動推進研修会】

6月5日（水）に、県立生涯学習推進センターを会場に、中部教育事務所管内の教育振興運動推進研修会が開催されました。

宮城教育大学教育復興支援センターの野澤令照先生による「学校・家庭・地域が協働で行う教育のススメ～東日本大震災が教えてくれたこと～」と題した講演では、地域と学校をつなぐリーダーの重要性について、震災時の状況を振り返りながらお話いただきました。

また、実践事例発表の石鳥谷小学校区教育振興協議会からは、東日本大震災の教訓を活かした集団下校訓練の取組発表がありました。各地区の避難場所までの集団下校、児童の引き渡し、受信確認できるメール配信システムへの変更、地域の協力者による通学路の安全指導など、災害時の子ども・学校・家庭・地域の役割分担を再構築し、訓練によって連携を強化した事例でした。

北上市立東陵中学校からは、沿岸被災地の中学校との交流や現地でのボランティア活動の取組発表がありました。交流やボランティア活動を通じて、被災地の現状や支援することの意義を学び、行動力や団結力を高めた事例でした。

宮守小学校6学年PTAからは、災害時を想定した条件下での野外炊事の取組発表がありました。与えられた条件（指令）のもとで、児童が考え、協力して野外炊事をするにより、判断力や行動力を高めた事例でした。

湯田地区教育振興会からは、子どもたちが野菜を作って販売し、その収益金を被災地に送る取組発表でした。作った野菜を販売する喜びや復興支援に役立つという満足感を得ることができ、働くことの意義や農業の素晴らしさを学ぶことができた事例でした。

東日本大震災によって様々な地域課題がクローズアップされました。これらの課題解決においても、5者（子ども・学校・家庭・地域・行政）の役割分担による互いの活動が見え、つながる取組が効果的であることを学ばせていただいた研修会でした。

★教育振興運動イメージソング

「Hand In Hand」は、こちらで聞くことができます。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/HANDINHAND.html>

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。 ⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第97号は、8月27日（火）配信予定です。

★バックナンバーはこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

★「全国生涯学習ネットワークフォーラム2013」が岩手で開催されます。

詳しくはこちら。

⇒ 文部科学省

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/shoubaigakushu/1307857.htm

Facebook <http://www.facebook.com/manabipeer>

まなびネットいわて <http://pref.iwate.jp/~hp1595/>

~~~~~配信元~~~~~

\*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課 教育振興運動担当  
転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

~~~~~